

18歳選挙



「国に届け」

18歳選挙、始まります。
日本には
若い力が必要です。

自民党



18歳選挙

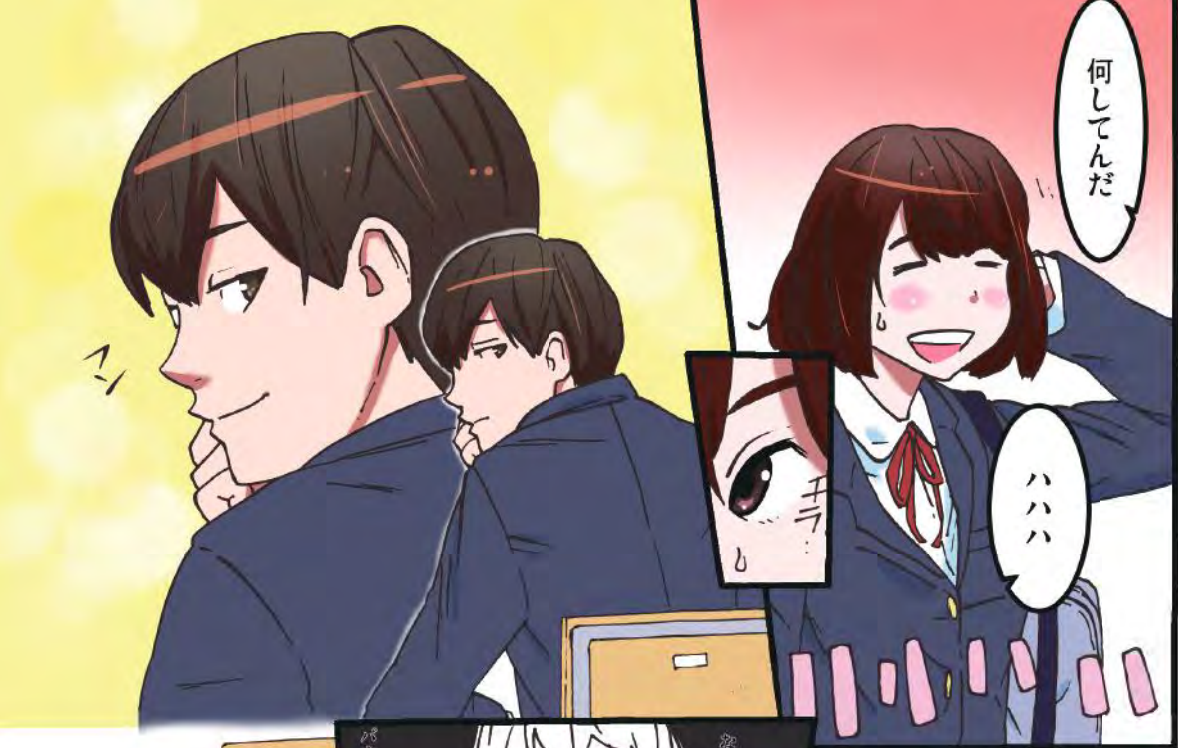
「国に届け」

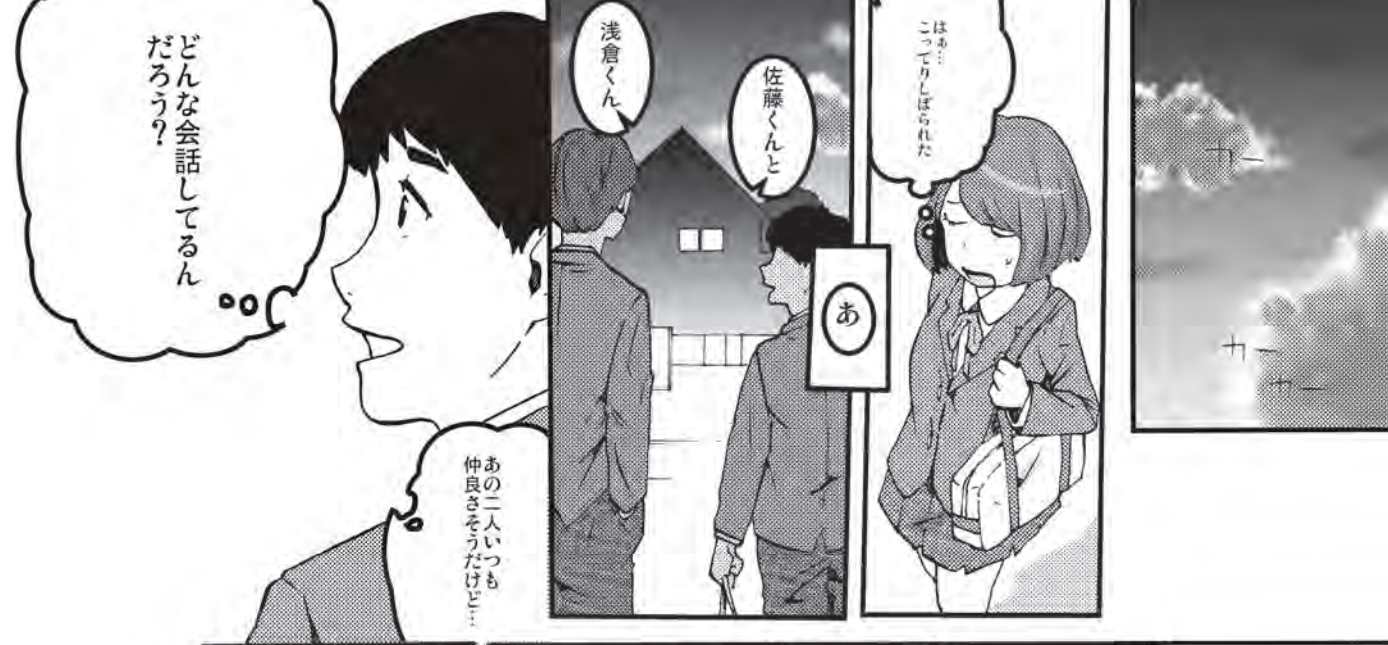
Liberal Democratic Party of JAPAN

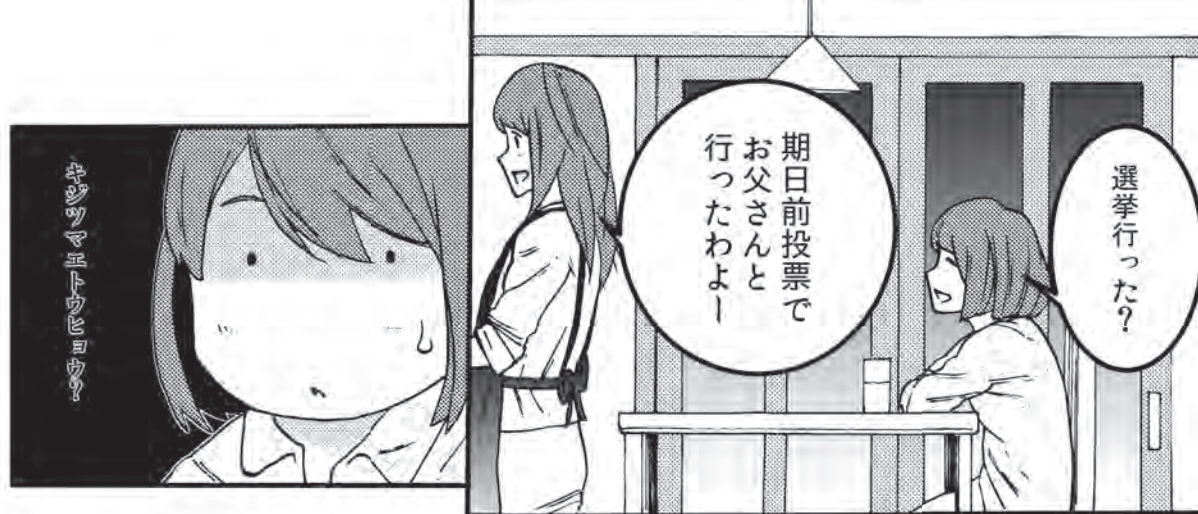
18歳選挙、始まります。
日本には若い力が必要です。

自民党

政策パンフレット









俺たちまだ18歳だけどさ
若者が政治に参加したら
もっと未来が明るくなる
かもな



私なりに
理念とか志とか
調べたもん!



えっ

バカにしないの?



へえ、えらいね!

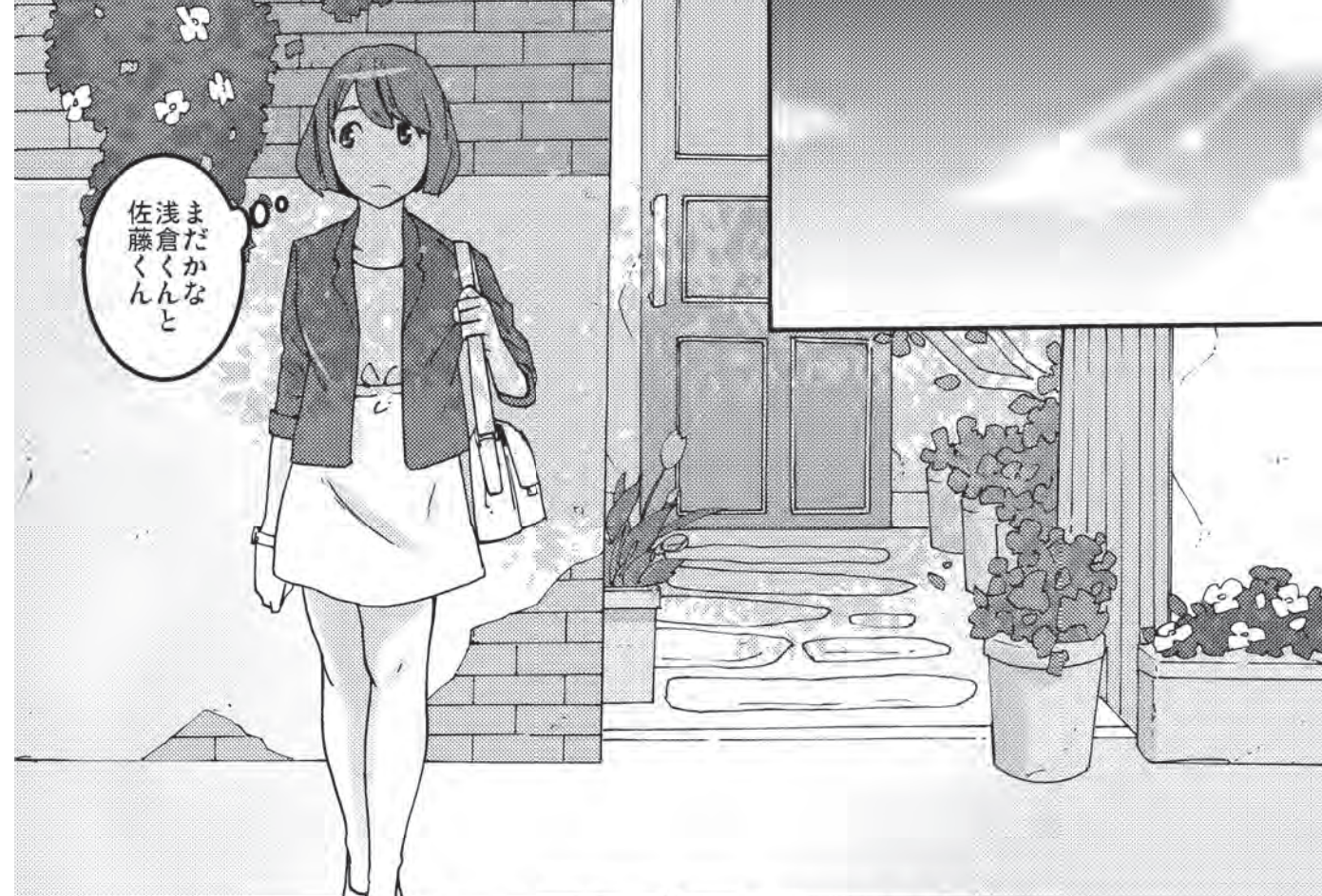


なんでするんだよ...

バカにして
ほしいのか?

ほ、ほしくないよ!

ほら、行くぞ



まだかな
浅倉さんと
佐藤くん



そんなことより
誰に投票するか
決めたのかよ。
チケットに

チケットじゃないよ!



よっ

私服初めて見た...
やっぱりかっこいいな...

遅くなって
ごめん!



U-20世代が自民党若手議員にインタビュー

政治って、選挙って何？ 私たちの将来に 関係あるんですか？

最近何かと話題の「18歳選挙権」の導入。これをきっかけに若者と政治の距離が縮まるかどうか、注目されています。そこで、17歳から20歳までのフツウの男女に、政治の世界では若手とされる国会議員に素朴なギモンをぶつけてもらいました。ゆる〜いやりとりが続くなか、核心を突く質問にタジタジの場面も——司会、コーディネーター役は辻清人衆議院議員です。

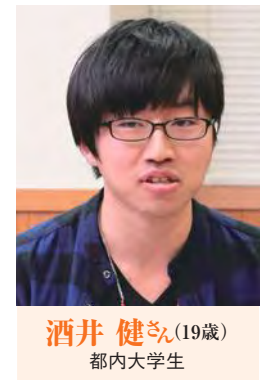
学生時代は、経験、が大切

辻 今日のはざっくばらんな感じでいきましょう。まず、酒井さんから。
酒井 僕はいま大学でパソコンのプログラミングを勉強しています。国会議員になるような人は学生時代勉強ばかりしてたような、堅苦しいイメージがあるのですが、議員のみなさんの大学生活はどうでしたか。

小林 私は大学の野球部に入ってたんですが、一方で高校卒業と同時に髪を金色に染めてパーテナーなどのアルバイトも経験しました。3年生のときはスノーボードにはまって、福島県の猪苗代のスキー場にインストラクターとして3カ月間泊まり込み入り。理科系で研究もあり単位が取れずに留年することになりましたけどね(笑)。そんな経験をするなかで「こういう

仕事もあるのか」「こんな大人になりたい」など多くの気づきがあり、将来のキャリアの選択に参考になりましたね。いまも当時の仲間とは繋がっていて、それぞれの立場で正直な気持ちを言い合える。政治家にとってさまざまな立場の人の気持ちがわかることは重要なことですから、いまの自分の、大切な財産になっています。
牧原 私の場合は、黒髪でしたが(笑)。まず大学に入った時点で、1年次は経験、2年次は集中、そして3年次以降は将来への準備と、4年間の目標を設定したんです。そして1年のときトイレ掃除など55種類のアルバイトを経験、2年のときはテニスの練習に明け暮れて大学の代表になれるよう頑張りました。3年秋になってからは司法試験の勉強に挑戦、4年のとき合格

することができました。
酒井 すごいバイタリティですね。同じことはできませんが、僕は来年留学をしたいと考えているので参考になります。
牧原 それはいい。私は、将来はすべての子どもたちが短期間でも公費で海外体験できる制度を導入すべきと主張しています。大学生生活はあっという間に過ぎてしまいますから、勉強でもアルバイトでも、何かひとつでもいいから一生懸命やったという経験は貴重な財産になると思います。
大沼 私は世界各国の学生が日本に集う「国際学生会議」の実行委員をやっていて、分科会などでいろんな国の同世代の人と語り合いました。片言の英語でも、食べ物の違いやお互いの日常生活などの話題は十分通じ



酒井 健けん (19歳)
都内大学生



小泉進次郎 (34歳)
農林部会長・元青年局長



辻 清人 (36歳)
青年局次長・国際局次長

ますし、留学もいいけどお金がかかるので、時間に余裕がある学生時代にそうしたチャレンジしてほしい。

人前であがらないコツは

辻 今度はずし圖師さん。お願いします。
圖師 国会議員の方は街頭や大ホールなどで話す機会が多いと思いますが、大勢の人前で緊張しないんですか？僕はあがり症なので、何か上手に話すコツがあったら教えてください。
小泉 同じ数百、数千という人でも、建物のなかと街頭では緊張感が全然違う。ホールに足を運ぶのは私の話を聞きにきてくれる人だけど、街頭演説ではたまたまそこを通りかかった人が相手だから。このたった1回でファンになってくれるか、嫌になられるかの勝負と考えると、常に緊張します。逆に緊張しない時はうまくいかない。初めて国会で予算委員会の質問に立ったとき、相手の鳩山首相(当時)をはじめ各大臣が居並ぶ前で、しかもNHKの全国中継が入っているなか「絶対失敗できない」と全身がガチガチでしたよ。
牧原 私はそれまで弁護士として人前で話す経験はありましたが、政治に挑戦するため最初に駅前で演説に立ったときは、緊張のあまり声がかすれて出ませんでした。以来12年間、ほぼ毎朝そこかこの駅前で演説するようにしていると、だんだん場馴れ

してくるものです。先日は党大会で司会を任されて、数千人の来場者を前に話すのが楽しくてしょうがありませんでした。

宮川 私の場合、子どものころから児童会長、生徒会長を務め、国会議員になる前は高校の教師をしていて、人前で話すことが仕事でした。あんまり緊張しないのは、より多くの場数を踏んでいるせいかも(笑)。ただ、誰かにペーパーを渡されて決められたことを話せといわれると、うまく話せない。むしろ自分の言いたいことを言って、伝わらなかつたら仕方ないというくらいにハラを決めています。

小泉 政治家以外の人なら使える、とっておきのテクニックを教えましょうか。それは最初に一言「僕は緊張します」と断ること。こういう場所は馴れていないので勘弁してくださいと言うと、まわりの自分を見る目が一気に和らぐので、そのあとが話しやすいですよ。
圖師 僕は場馴れするところまでは難しいかもしれませんが、小泉さんのアドバイスは参考になりました。

休みがあったら勉強したい!?

辻 次は、都内の会社に勤める社会人3年目の伊藤さん。
伊藤 毎日お忙しいと思うのですが、国会議員ってお休みはあるんでしょうか？もし、1週間の休暇を取れると

したら何がしたいですか？

宮川 国会議員に決まった休みはありません。私はこれまで1日も休んだことがないので想像したこともなかったけど、1週間の休暇が与えられるとしたら、半分は家にいて料理をしたり寝たりして、あとの半分は温泉でもいいし、海外でもいいので、どこかへ遊びに行きたいですね。とにかく普通のことです。

牧原 私は7年前に選挙で落選したことがあって、手帳が真っ白で、朝起きてもやることがない。毎日がお休みなわけで、これは人生で経験したことのない恐ろしい出来事でした。そのとき、当時3歳になったばかりの長男と公園に1回も行ったことがないことに気づいて…。

二人で公園に行って遊んで、子ども

と過ごす時間の貴重さを改めて気づかされました。再選したあとは、スケジュールをやりくりして休日をつくり、子どもたちとキャッチボールしたりするようにしています。

小林 1週間あったら、私は何かを勉強することに使いたいですね。最初に留年した話をしちゃったので、急に真面目ぶるわけじゃないんですが(笑)。社会人になってみると、学生のとき勉強しておけばよかったと思うことが多々あります。大学の短期集中講座なんかで興味ありそうなテーマを探して行ってみたいです。

伊藤 私もそう思うことがありますね。国内のことも海外のことも、まだ自分が知らないことがいっぱいあるじゃないですか。でも仕事もあるし、何から始めればいいのかもわからないの

で踏みとどまっている状態ですが。

小林 ずっと働いてきた人が休みをとって、関心を持ったことをもう1回勉強して次のステップに進む。そんな生き方の選択肢がある社会がいいなと。それがやり易い仕組みを政治の側からつくっていききたいと思います。

なぜ若者は選挙に行くべきか

辻 それでは今月高校を卒業したばかりで、これから大学に進学するという**大山さん**。

大山 高校で「18歳選挙権、に関する授業があって、「投票に行きたくない」という人もいました。「行っても結果が変わるわけではないので、選挙に行く意味はないんじゃないか」と言うのです。どう思いますか。

大沼 私が3年前に初当選したときの得票数は約27万票ですが、相手候補との差は2万票ほどしかなく接戦でした。でも世代ごとの投票結果を調べてみると、20代、30代では圧倒的に私への支持が多かった。この事実は、新人議員の私に「若い世代のための政策をしなければ」という気持ちにさせました。

宮川 投票する側からだけ見れば、自分の一票は投票総数の何十万分の一、何百万分の一ということになります。しかし、選挙という行為にはもう一方で立候補者がいて、その人たちは一票一票を獲得するために必死で

戦っている。政治家なら、これまでの選挙での得票数をいちばん下のケタまで覚えているはずですよ。

ですから、誰が投票してくれたかだけでなく、普段の街頭活動や集会で各世代の人々がどのように反応しているか、政治家はしっかり見ています。若い世代が一票に託す思いが届かないなんて、そんなことは絶対にありません。信頼してぜひ投票に行ってください。

大山 わかりました。初めて18歳の私たちにも選挙権が与えられる歴史的な機会ですので、投票には必ず行きます。

牧原 若い世代は、国はこんなに借金をして、将来自分たちの年金は大丈夫かという不安があります。一方で年金をもらっている世代は支給額を減らすなんてとんでもない、むしろ増やすべきという意見に傾きやすい。だから若い人たちが選挙に行かないと、どうしてもシニア世代のほうに向けた政策ばかりになってしまいます。30年後、40年後になって、あのとき投票に行かないで失敗だったと後悔してほしくありません。

そもそも政治の必要性って何？

辻 加藤さん、お待たせしました。彼はこの春高校を卒業し、将来ご両親が経営する野菜農家を継ぐために専門の学校へ進学するそうです。

加藤 僕はまだ政治家の方が何をやっているのか、くわしく知りません。それに、そもそも政治って必要なんですか。

大沼 難しい質問ですね(笑)。私は、国の政治のもっとも重要な役割のひとつは、国民のみなさんから集めた貴重な税金をどうやって上手に配分するかを決めることだと思います。道路や橋など生活に必要なインフラをつくる費用、障がい者や高齢者、ひとり



親家庭のための支援、国の安全を守る自衛隊の費用など、必要としている配分先はさまざまあります。政治がなかったら、たぶん奪い合いになって収拾がつかないでしょう。

同時に、その税金がいまのように足りなくなったとき誰に負担を求めるか、それを決めるのも政治家の仕事です。

小泉 加藤さんが目指す農業分野というと、国民が飢えないようにするため日本の農業を守り、強くすることも政治の役割です。私たちが食べている牛や豚などのエサは海外のトウモロコシなどに依存している。国産牛・豚・地鶏と言いつつ、海外のエサがないとやっていけない状況を改善していくことも政治の役割です。

また、国民がおいしいと思うような食べ物を開発することも個人では難しく、たとえば、最近人気のシャインマスカットや白いイチゴなどの新種の果物は、税金を投入している国の研究機関が長い間品種改良を経て開発したものです。

加藤 僕の家ではダイコンやモロヘイヤなどを栽培しています。たくさん売れるようにしてほしいです(笑)。

牧原 そもそも政治って、政治家だけがやっている特別なことじゃなく、職

場でも学校でも行われています。複数の人間がいてそれぞれに要望や意見がある場合、まとめる人がいないと大変ですよ。そして、その人を中心にルールをつくる。もちろん国会議員の場合、調整役を担うだけでなく、リーダーシップを発揮して、これから進むべき外交や経済政策などを国民のみなさんに示すことが重要になります。

農業、経済、奨学金、保育園…

辻 では、若者のみなさんからの質問が一巡したところで、これからはランダムに質問を聞いていきましょう。もう少し政策に関する突っ込んだ話も聞きたいところですが、いかがですか。

加藤 今度は自分の将来に直結する話を、ぜひ伺ってください。TPP(環太平洋経済連携協定)が実施されると農産物の輸出入にかかっている関税が撤廃されて、日本の農業がダメになると聞きますが大丈夫でしょうか？

小泉 一般に誤解されているようですが、日本の「農業」と「食」の力は、農家のみなさんや多くの日本人が考えている以上に大きい。こんなに農業に適した環境に恵まれ、ブランド力のある農産物を生み出せる技術のある国は世界にありません。この力をもっ



牧原秀樹(44歳)
副幹事長・青年局長



宮川典子(36歳)
女性局長代理・青年局長



圖師悠太さん(19歳)
地方会社員



大山莉々さん(18歳)
今春から大学生



加藤秀明さん(17歳)
農業後継者

と生かしていけば、私は日本にしか生み出せない価値と魅力を提供できると確信している。たとえば首都圏なら、24時間フル回転する大田市場と羽田空港を活用して、世界をマーケットにした展開が可能です。

農家出身でない若者が農業に参入するケースも増えていて、誰もが比較的容易に技術を習得できるよう、IT・ビッグデータ・人工知能(AI)の活用なども支援していきたい。

園師 僕は地方にある企業に勤めているんですが、地方に住んでいるとアベノミクスの効果が実感できません。これからの景気はどうなりますか？

牧原 いま日本は人口減少社会に入っていて、先日発表された国勢調査の結果では、5年前より約95万人も減りました。当然、モノが売れなくなるし、サービスの提供も少なくなっています。スマホや薄型テレビなども行きわたって需要の飽和感もあり、高齢化も加速していて、消費拡大という点から見ると三重苦の時代です。

にもかかわらず、現状はアベノミクスが功を奏して、景気は以前より好転してきています。とくに雇用の面では、失業率は大幅に低下、有効求人倍率は過去最高水準。若者の8人に1人



伊藤 優さん(20歳)
都市部会社員



小林史明(32歳)
青年局学生部長
ネットメディア局次長



大沼みずほ(37歳)
女性局長代理
ネットメディア局次長

が失業中というヨーロッパなどから見たら信じられないような数字です。後戻りせずにこの勢いを維持し、今後どうやって地方に景気の波を波及させていくか、いま抜本的な対策を練っています。

酒井 僕はいまアルバイトを2つかけもちしながら大学に通っていて、留学費用も貯めなくてはなりません。といて奨学金に頼ってばかりだと、卒業してから返すのが大変です。何とかありませんか。

宮川 私も学生時代、奨学金のお世話になって助かった経験があるので、その切実な気持ちはよくわかります。現在、政府では、返済の必要がない給付型の奨学金を拡充する方向で検

討を進めていて、同時に貸与型のほうも学生のみなさんの頑張りしだいで返済を免除したり減額したり、また卒業後の所得に応じた返済額にできるよう、制度変更を考えているところです。

やはり、お金のあるなしで勉強する機会が左右されてはいけません。もっと学びたいという人に対しては、国が積極的に教育投資をする必要があると思います。

伊藤 私は将来、結婚して子どもを生んでからも仕事を続けたいと思っています。そのとき本当に子育てと仕事両立できるのか、最近の保育園に関するニュースなどを見ていると不安になるのですが。

大沼 ここは子育てまっただ中の私の出番でしょうか(笑)。いまちょうど保育園不足の問題がクローズアップされていますが、少子化といわれるなかでも、じつは保育園の数や乳幼児の受け入れ可能な数はずっと増え続けているんです。ただ、出産後も働きたいというお母さんがそれ以上に増え、とくに費用が安く設備が充実している認可保育園に希望が集中するため、いわゆる「待機児童」の問題が起きているわけですね。

これからは共働き家庭がほとんどの時代になりますから、保育士さんの待遇改善を図るなどして、若いママやパパが安心して預けられるように全力を尽くします。



辻 すでに予定の2時間を超えてしまいましたが、どうしても聞いておきたいことがまだありますか。

大山 私が聞きたいのは、やはり選挙のことです。たくさんの政党があり、候補者がいるなかで、どういう基準で選ぶのがいいでしょうか。

小泉 ここにいる議員は全員、自分に投票してほしいと思ってるんじゃないかな(笑)。「私に一票を預けてください」と胸をはって言える活動を続けなきゃいけない。

宮川 たしかに、この質問はむしろ私たちのほうからしたいぐらい(笑)。大山さんはどういう基準で選びたいですか。

大山 私が選ぶとするとしたら、わかりやすい主張をする政党や人でしょうか。その際はツイッターやフェイスブックなども参考にしたいと思います。

牧原 日本はいま時代の曲がり角にあります。少子化の一方で、高齢化が加速し、財政の赤字はふくらむ一方です。政治や経済のシステムをはじめ、この

ままにしておいていいわけがありません。

ただ、そういう時代だからこそ方向性を見誤ってはいけないと思います。わかりやすい主張をすることは大事だけど、面白いことを言ったり、甘いことを言うだけでは無責任ですね。財源の裏付けもないのにあれをやります、これもやりますという政党は注意したほうがいい。それと、むしろ厳しいことを正直に言う候補者に注目してもらいたいですね。

大沼 私も「タダより怖いものはない」と思う。選挙になると何でもかんでも無料にするという政党が現れますが、その穴埋めをするのは自分かもしれないし、自分の子どもや、ひょっとしたら孫なのかもしれません。結局は誰かが負担することになるわけです。

小林 投票したいという政党や候補

者がいなくても、ネットで調べてみて、少しでも共感する点を見つけて選挙に行ってほしい。1回でも投票すれば、それをきっかけに政治が身近に感じられるようになります。

こうした一票って、政治家にとってみなさんからの手紙、メッセージなんです。自分に投票する人が増えたら、応援や期待の想いが伝わるし、減ればまだまだ努力不足という厳しいメッセージ。名前を書かず白票だっていい。皆さんの想いを伝えに、ぜひ投票に行ってください。

辻 本日は若者のみなさんに活発な質問をしていただき、私たち議員のほうも大変参考になりました。ありがとうございました。

※この座談会は平成28年3月28日に自民党本部で行われました。

After the round-table talk 司会 辻 清人

座談会終了後に全員で記念撮影をし、この日参加してくれた若者たちに「国会議員の人もフツーでした」と言われて、うれしいやら悲しいやら。「政治がぐっと身近に感じられるようになりました」などと、ホッとする感想も述べてくれました。



選挙はじめて物語

第24回参議院議員通常選挙当日

投票できる時間は原則、午前7時から午後8時まで

ドキドキ、ワクワクしてきた



ヤバイ、テンパってるかも...

1 受付

入場券を出して受付をします

2 名簿対照係

選挙人名簿に載っている本人かどうかの確認を受けます

1 投票所

いよいよ投票所に到着

5 投票箱

投票箱に入れます

投票立会人
投票が公正に行われるよう監視しています

投票管理者
投票所の最高責任者です

8 投票箱

投票箱に入れます

これで終了。所要時間は5分程度です

意外とカンタンだった!

投票箱にうまく入るか不安

そして1回目の投票へ

3 投票用紙交付係

選挙区選出議員選挙の投票用紙をもらいます

4 投票記載台

選挙区選出議員選挙は、候補者名を記入します

6 投票用紙交付係

比例代表選出議員選挙の投票用紙をもらいます

7 投票記載台

比例代表選出議員選挙は、候補者名または政党名を記入します

〇〇市第△投票所
投票する場所は、投票日前に配られる投票所入場券に記載されています。投票に行く際は自分の名前が書かれている入場券を持参してください。(ただし、忘れた場合でも投票は可能ですのでご心配なく)

さらに次の投票へ

出口

投票日に投票場所へ行けないときは?

期日前投票※に行こう!

※期日前投票とは 投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭などの用事がある場合、期日前投票ができます。投票できる期間は、選挙期日の公示日の翌日から投票日の前日までの間(土日OK)で、原則として午前8時30分から午後8時まで可能。投票所は役所などに設けられます。

選挙なんでもQ&A

各国の選挙権年齢(抜粋)

| | |
|-----|---------------------------------------|
| 25歳 | アラブ首長国連邦 |
| 21歳 | オマーン、クウェート、シンガポール、マレーシアなど |
| 20歳 | カメルーン、日本(満18歳に引き下げ予定)など |
| 19歳 | 韓国 |
| 18歳 | 米国、英国、イタリア、オーストラリア、カナダ、ドイツ、フランス、ロシアなど |
| 17歳 | 東ティモールなど |
| 16歳 | アルゼンチン、オーストリア、キューバ、ブラジルなど |

※国立国会図書館調べ(平成26年)

Q1 なぜ、いま“18歳選挙権”なのですか?

A1 18歳、19歳をはじめとする、若者の力を社会や政治が必要としているからです。

少子高齢化、人口減少社会を迎えた日本において、若い世代がより早く選挙権を持つことで、社会の担い手であるという意識を持っていただき、主体的に政治にかかわる若者が増えてほしいと願っています。世界的にみても18歳までに選挙権が認められている国は全体の92%であり、今回の引き下げは世界の流れに沿ったものといえるでしょう(図参照)。

Q2 18歳選挙権のメリット・デメリットを教えてください。

A2 有権者が増えることが最大のメリット、課題はありますがデメリットはありません。

今回の公職選挙法改正で確実に、全国で約240万人にのぼる若い有権者が増えることです。平成19年に成立した国民投票法の規定に、投票権者は18歳以上と定められており、それとのアンバランスも解消しました。いま議論されている憲法改正の是非を問う国民投票には、ぜひ若者にも参加してほしいと思います。

Q3 立候補できる年齢も下がるのですか?

A3 今回は有権者年齢の引き下げだけです。被選挙権年齢については今後の課題でしょう。

Q4 投票から開票までの選挙の流れについて教えてください。

A4 投票は原則、住民票のある指定された場所で行い、終了後、投票箱を1カ所に集めて開票作業が行われます。

Q5 高校生が選挙運動してもいいですか?

A5 もちろん、満18歳になればOKです。ただ、満18歳未満の人の選挙運動はNGです。

公示日・告示日に立候補の届け出がされた時から投票日の前日まで、友人や知人に直接または電話で投票や応援を依頼することができます。選挙運動メッセージをブログに書き込んだりSNSなどで広めること、選挙運動のようすを動画サイトに投稿することも可能です。ただし、電子メールを利用した運動は候補者や政党などに限られています。

(参考:総務省HP)

こんなリーダーが戦後ニッポンを率いてきた！個性派ぞろいの自民党の総理・総裁たち

岸信介

第3代総裁



安倍首相の祖父。不平等だった日米安保条約の全面改定を激しい反対運動をはねのけ達成、今日のわが国の安全と繁栄の基礎を築いた。最低賃金制度導入や「国民皆保険」への道を開くなど功績は多い。

田中角栄

第6代総裁



全国を高速道路や新幹線で結び、地方を工業化させるという「日本列島改造論」を掲げて総裁に当選。日中国交正常化を果たす。エリートではない経歴から「今太閤」と呼ばれ、多くの国民に親しまれた。

中曽根康弘

第11代総裁



「戦後政治の総決算」をキャッチフレーズに、国鉄、電電公社、専売公社（それぞれ現在はJR、NTT、JT）の民営化を実現。アメリカのレーガン大統領と「ロン・ヤス」と呼び合う親密な関係を築いた。

小泉純一郎

第20代総裁



「郵政民営化こそ改革の本丸」と衆議院を解散。マスコミが「小泉劇場」と名づけた選挙スタイルで自民党を大勝に導く。派閥人事の一掃や北朝鮮への電撃訪問など、果敢な行動力が持ち味だった。

安倍晋三

第21代、第25代総裁



第一次安倍内閣では、「戦後レジームからの脱却」をスローガンに教育改革などに成果をあげる。5年後に総理・総裁に再び就任。デフレに沈んでいた日本経済を「アベノミクス」で浮上させ、さらに「一億総活躍社会」を実現するべく取り組んでいる。2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催へと導く。

年表

| 昭和20年 | 26年 | 30年 | 31年 | 32年 | 35年 | 39年 | 40年 | 43年 | 45年 | 47年 | 49年 | 51年 | 53年 | 54年 | 55年 | 56年 | 57年 | 60年 | |
|-------------|---------|----------------|--------------|-----------------|-----------|----------------|----------------|-------------|-----------|---------|------|-------------|-------------|---------|----------|-----------|-----------------|---------|-------------------|
| 政治・社会・世界の動き | 太平洋戦争終戦 | サンフランシスコ平和条約調印 | 日ソ国交回復に関する調印 | 経済白書「もはや戦後ではない」 | 日米新安保条約調印 | 国連安保理の非常任理事国入り | 10月、東京オリンピック開催 | 所得倍増計画を閣議決定 | 日米新安保条約調印 | 日中国交正常化 | 沖繩返還 | 日米安保条約、自動延長 | 万国博覧会、大阪で開催 | 小笠原諸島返還 | 日韓基本条約調印 | 核拡散防止条約批准 | 佐藤元首相がノーベル平和賞受賞 | 日中国交正常化 | プラザ合意成立、バブル経済スタート |
| 自由民主党・内閣の歴史 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



| 平成元年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 | 14年 | 15年 | 17年 | 18年 | 19年 | 20年 | 21年 | 23年 | 24年 | 25年 | 27年 | 28年 | | | |
|-------------|------------|------------|-------------|---------|------------------|----------|---------------|-----------------|-------------------|--------------------|-----------------|-------------------|-------------|-------------|-------------|-------------------|--------------------|--------|-------------------|--------------|--------|-------------------|--------------|----------------------------|----------|-----------|
| 政治・社会・世界の動き | 昭和三十九年天皇崩御 | 日経平均が最高値更新 | イラクがクウェート侵攻 | 東西ドイツ統一 | ソビエト連邦が建国74年目で解体 | PKO協力法成立 | 東京で第19回サミット開催 | 総選挙後、非自民の細川内閣成立 | 阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件 | 自・社・さ3党が推す村山富市が首相に | 総選挙後、非自民の細川内閣成立 | 公明党が自・自・公の連立政権に合意 | アメリカで同時多発テロ | 九州・沖縄サミット開催 | アメリカで同時多発テロ | ブッシュ大統領、イラク攻撃開始宣言 | 総選挙で自民圧勝、郵政民営化法案可決 | 竹島の日制定 | 総選挙で民主党が躍進、鳩山内閣成立 | 北海道洞爺湖サミット開催 | 東日本大震災 | 衆院選で民主党が躍進、鳩山内閣成立 | 北極圏洞爺湖サミット開催 | 二〇二〇年オリンピック・パラリンピックの東京開催決定 | 伊勢志摩サミット | 平和安全法制が成立 |
| 自由民主党・内閣の歴史 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |